

2012 年度 入学前準備教育 実施報告書

【2月講座】

2012年2月7日（火）～10日（金）、15日（水）～17日（金）
20日（月）～23日（木） 11日間

【英語集中講座】

2月24日（金）・27日（月）・28日（火）・29日（水）・3月1日（木）5日間

【3月講座】

3月5日（月）～9日（金）、14日（水）・15日（木）・19日（月）
21日（水）～23日（金） 11日間

報告にあたって

本学が入学前準備教育を始めたのは12年前になります。「選抜から可能性を見出す入試」への入試改革と表裏をなすものとして企図し設計されています。すなわち個性豊かな多様な学生を受け入れるために以下の入試を作りました。

- 高校の推薦と高校までの成績や活躍をもとに評価していく推薦入試
- 将来の夢、意欲、可能性をノートテキングや面談などで評価するAO入試
- 自分の特技や将来の夢を志望理由書、小論文と面談でプレゼンテーションする自己推薦入試
- 基礎的な学力を見る一般入試

受験生が自分にあった方式で自らの強みを発揮し自らで将来を切り開いていくための入試の仕組みとなっているのです。その改革の中で見えてきたのが、これまでの日本の入試制度は受験時点での狭義の学力のみで選抜を行い、意欲があり、可能性がある学生を見出せていないということでした。さらに学ぶということの面白さに気がついていない学生が多いということもあります。高校までの学習と大学での学びの質的な転換に学生に早い段階で気づいてもらうことを目的にはじめたのが入学前準備教育です。

11日間を通学制にし90分の授業を3コマ行うスタイルは全国でも本学だけです。通学制の対面授業を実施しているのは大学での学習習慣を身につけさせるためです。また学部を越えたクラス編成と学生スタッフが講義の補助、添削のほか昼休みに面談を実施することで大学に早く慣れ、友だちも作れるというメリットがあります。モチベーションを高めるために強制ではなく申し込み制にしているのも工夫のひとつです。

毎年いろいろな新しい試みを行うのも本学の入学前準備教育の特色です。今年は英語のプログラムとしてGLOBISH（グロービッシュ）の日本支部の協力を得てダンスやチャントを交えて英語と日本語の発声の違いを体感させながら英語の苦手意識を払拭していくEnglish Dayを実施しました。3年前にアメリカの学生パフォーマンス集団Young Americanと体育館でやったEnglish Dayが少しずつ改善を重ねてきており、一年次からの英語教育との連携を探っています。

また対話を通じて自分と世界を「考える」ワールドカフェも3月講座で1日かけて実施しました。これまであまり「考える」授業を受けてきていない学生たちに大学での学びの基本となる「考える」ということを在学生在がファシリテーターになって行うものです。は

じめに仙台を中心に「哲学カフェ」を実践しておられる東北文化学園大学の西村高宏先生（専門：臨床哲学）にガイダンス講義をやってもらい、その後グループに分かれ、ワールドカフェの形式で対話を行いました。ファシリテーターをやる在学生の役割が重要なのですが、3年目に入り積極的に事前の準備がなされるようになっていきます。このワールドカフェは入学後も学部、学年を越えて自主的に開催されるようになりましたので次第に定着してきたようです。

この場を借りてもう一つだけ報告させていただきたいことがあります。今年、「高大接続準備室」を広報局に設けました。これは一人ひとりの生徒（学生）のよりよい成長のために高校と大学が連携して何ができるかを探りながら具体的に試み始めることを目的にしています。「高校での学びを大学の学びにつなげていく」ことを共に考えていきたいと考えています。

最後になりましたが、大学の質保証が求められています。本学の入学前教育はまず学生に「学ぶ意欲」「学習習慣」「基礎学力」の必要性に気づかせ、初年次教育に結びつける重要な意味を持っています。中教審の答申に予習、復習を含めた単位の実質化ということが出てきていますが、その課題に向けてさらなる取り組みを行っていきます。ぜひご理解とご協力をお願いいたします。

2012年5月

聖学院大学 広報局長 山下 研一

目次

講座案内

合格者へ送付した案内	3
実施要領	5
英語集中講座	9

受講者データ

受講生データ	1 4
面談記録	1 7
各教科データ	1 8
クロージングアンケート結果	2 0

スペシャル・プログラム報告

English Day 報告	2 5
ワールド・カフェ 報告	2 9

実施の総括（英数国）・実作例

講師紹介	3 4
基礎英語	3 5
基礎数学完成	4 2
文系国語表現力基礎	4 4
小論文実作・添削例	5 1
プレゼンテーション例	5 3

参考資料

英語集中講座報告	5 8
掲載記事	6 7

※web 上では、掲載記事の掲載は割愛させていただきます